

領 収 書

令和元年 9 月 17 日

金子 保利 議員

金額
(消費税込) 1,599円

第4回佐野市議会 議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(令和元年7月8日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

木村 久雄



領 収 証

No. _____

金子 やすし 様

元 年 10 月 18 日

領収金額			7	千	3	8	8	8	0	円
------	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---

但し

上記金額正に領収いたしました

高 橋 印 刷

〒327-0822 栃木県佐野市越名町1282

○ TEL (0283) 22-2298

○ FAX (0283) 22-4687

請 求 書

元 年 10 月 11 日

No. _____

金子 やすし 様

栃木県佐野市越名町 1282

高 橋 印 刷

下記のとおりご請求いたします

TEL (0283) 22-2298 ・ FAX 22-4687

品 名	数 量	単 価	金 額
長3ミズ1070 カラコピー印刷	3000枚	12-	36000-
9月申受注 消費税 8%			2880-
合 計			738880-

毎度ご用命ありがとうございます

3/4 ページ

領収書



日付: 2020年1月21日
領収書番号: R-2001164798

金子 保利 御中

ラクスル株式会社



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥16,984-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
2001164798-01	(金子やすとし市議会報告2020新春号) チラシ・フライヤー、A3、両面カラー、光沢紙(コート)、標準:90kg、折り加工:2つ折り(センター折り)	3,000部	2020年 1月21日	¥15,920

注文内容:	商品:	¥15,920
注文合計:		¥15,920
キャンペーン値引き:		¥480
消費税:		¥1,544
ご請求合計金額:		¥16,984
お支払い方法:		クレジットカード



佐野店 Tel.0283-24-6611

ネットで注文
店舗受取りサービス

カインズオンラインショップで
注文した商品を最寄の
カインズ店舗で受け取れます
詳しくはQRコードからご確認ください



< 領 収 書 >
カインズお買上商品を交換・返品の際
はレシートを必ずお持ちください
ご了承ください。
2020年 2月 2日(日) 16:10

081	ラベルシール12	100	¥1,980
081	ラベルシール12	100	¥1,980
2点/小計			¥3,960
内消費税等			¥360
(10%対象)			¥3,960
合 計			¥3,960
現金			¥4,060
お釣り			¥100

領収書

様

[別納引受]		
区内特別基 (定)	18.0g	
@73	<u>1,177通</u>	¥85,921
小 計		¥85,921
第一種定形	18.0g	
@84	<u>39通</u>	¥3,276
小 計		¥3,276
郵便物引受合計通数	1,216通	
課税計 (10%)	¥89,197	
(内消費税等)	¥8,108	
非課税計	¥0	

△計	¥89,197
口	
お預り金額	¥90,000
おつり	¥803

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年 2月 6日 16:11
担当：金子 郁夫
発行No. 200206A4983 端N69箱01
連絡先：佐野馬門郵便局
TEL:0283-22-4251

金子やすとし 市議会報告 2020新春号

327-0821 栃木県佐野市高萩町 1206-6 TEL 0283-22-2239
携帯 090-3331-4257 E-mail yasutoshi@kaneko.name



台風19号の災害関連報告と令和元年6月・9月・12月議会の報告です。

台風19号の通過により、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早く元の日常生活に戻れますようご祈念致しております。

台風19号により甚大な災害発生。災害に対する対応の遅れが浮き彫りになりました。



三杉川と越名沼



秋山川右岸決壊（赤坂町）

令和元年12月議会 一般質問

今議会は、台風19号の影響で甚大な被害が生じたため、一人15分の一般質問になりました。主な質問を記します。

台風19号に関する一般質問

岡部市長は、このたびの台風第19号の災害は、想定外の災害であると仰っておられたそうですが、行政は市民の生命、財産を守るため、想定外の自然災害に備えておくことが使命であり、それを誠実に果たすことが、行政の責務であると考えます。

質問 台風19号は、佐野市民を恐怖におとしめ、甚大なる被害を招いてしまいました。その要因はどのようなことと捉えておられますか。

答弁 (行政経営部長) 被害の要因につきましては、10月12日、1日の総雨量が葛生、豊代で410ミリ、秋山台の観測所で471ミリ、作原観測所では377ミリの大雨による河川の決壊、氾濫と土砂災害でございますとの答弁。

要望 私は、台風19号の通過に伴い、大災害に陥った原因は、400ミリを超えるような豪雨が各地で起こってしまったことだと思っております。13日から地元の界地区から秋山地区まで、被災地を巡り多くの方から要望、ご意見をお聞きしました。

被災者の声が一番多かった声は、「なかなか成果が見えない、見えてこないクリケット事業に何億円もの税金を使わないで、防災・減災事業に使ってほしかった」との声でした。私も同じ考えでございます。

それから、私は、都市建設部の予算を削減し続けた結果、中小河川の維持管理不足になり、河床の浚渫を長年放置したため土砂が堆積し、雑木、雑草が伸び放題になり、河川の決壊、氾濫、越水をきたし、甚大な被害を招いた最大の要因ではないかと思っております。今後市民の安心安全を第一義と捉え、防災にしっかり取り組んでいただくことを当局へ強く要望致しました。



例幣使街道「中橋」崩落（秋山川）

避難場所についての質問

質問 従来の避難所を補完するため、町会指定避難所を設置していただくことになっております。現在までに何カ所設置されましたでしょうか。

答弁（行政経営部長） 町会や自主防災組織の一時避難場所につきましては153カ所でございます。

要望 防災マップに、身近な町会指定避難所の記載がございません。掲載して頂けるよう要望致しました。

再質問 2次避難を余儀なくされた避難所の見直しはお考えになっておられますか。

答弁（行政経営部長） 避難所の設置が適正かどうかを含めまして、今後各町会や自主防災組織の役員を含めた市民の皆様のご意見を伺いながら検討してまいりたいと考えておりますとの答弁。

被災者の皆さんの心情は、災害現場を見て来て欲しい、水が音もなく押し寄せ、命の危機にさらされたこと等を知って欲しい、もっと寄り添って欲しかった。との思いであると思えます。

被災者の皆さんの心の痛みを癒やすのは、市長、議員、市職員が率先して、被災者宅に出向いて、ボランティア活動に励み、顔を見せ、話を聞いてやることではないでしょうか。

激甚災害の指定

台風19号の災害に対し、佐野市は激甚災害指定を受けられます。公共土木施設、農地、中小企業者等の被害に対し、災害復旧国庫補

助事業（概ね6割～8割の補助）に激甚災害の指定により、国庫補助率が1～2割嵩上げ措置が講じられます。

佐野市の被災額は約130～150億円と見込まれていますが、指定を受けることによって、佐野市の財政負担が軽減されることとなります。



災害ゴミ置場（栄野球場）

令和元年9月議会 一般質問

佐野市のふるさと納税の取組みの質問

質問 ふるさと納税寄附受入額と寄附に伴う税額控除額の差額は、平成28年度が2,046万円、29年度が3,243万円、30年度が4,514万円の赤字である。税額控除額により、赤字でも交付税を控除すると黒字になることもあり得るのか。

答弁（総合政策部長） 普通交付税においては、市内の納税者がふるさと納税をした場合、寄附にかかわる税額控除額の75%が市の基準財政収入額から控除される仕組みとなっておりますので、普通交付税を考慮した場合、市の実質の負担額は寄附金から経費を除いた額と寄附にかかわる税額控除額の25%の差となります。

普通交付税を考慮した場合、寄附金額から経費を差し引いた額が税収減となる税額控除額の25%を上回っていれば黒字という考えになります。平成30年度を例として、寄附金額から経費を差し引いた額が約1,919万円、税収減となる税額控除額の25%が約1,729万円ですので、差し引きの約190万円が黒字という考えとなります。

佐野市のふるさと納税返礼品の一部



佐野市の社会資本の整備と維持の質問

①道路の無電柱化について

質問 道路に電柱のないまちづくりを推進するまちを全国に発信して、安心安全なまちづくりを積極的に取り組んで頂きたいと思えます。当局のお考えをお伺い致します

答弁 (都市建設部長) 無電柱化は、災害時に倒れた電柱や電線類が緊急用車両等、通行の妨げになる障害物がなくなり、防災性が向上することや、道路の見通しがよくなり、交通上の安全性が向上するなどとともに、歩道が広く使えるため、誰でも通りやすくなるなど、無電柱化は安全で安心なまちづくりに寄与するものと認識しております。然しながら、全国的に見ましても、無電柱化は一般的な道路整備と比較致しまして時間と費用も要することから、整備がなかなか進まないのが現状でございます。今後も国や県の動向に注視しながら、無電柱化の推

進に市としても取り組んで参りたいと考えております

無電柱化道路と街路樹 (イオン前)



②カーブミラーの設置、維持管理の質問

質問 カーブミラーに適切な設置場所の土地所有者から、どうしても同意が得られない場合もあるかと思えます。そのような場合であっても、道路上に設置はできないものなのでしょうか、見解をお伺いいたします。

答弁 (都市建設部長) 道路構造令では、車両や歩行者の交通の安全を確保するため、路上施設を設けることができない空間、建築限界が定められております。

従いまして、道路の建築限界の内部にはカーブミラーの設置ができないこととなっております。なお、道路上に設置してあります既存のカーブミラーに関しましては、その状況に応じまして近接する電柱に添架したり、民地側に建て替えを行っているところでございます。



決算審査特別委員会 (4日間)

9月議会は、平成30年度の決算議会であります。決算審査特別委員会が4日間設けられ、一般会計、特別会計(水道事業会計も含め)とも持時間60分です。皆さんからお預かりしました貴重な税金が適正に運用されたのか費用対効果の点から審査を行います。

質疑は希望する議員のみが行います。

一般会計の質疑者は16人。特別会計は、7人です。特別会計の質疑者が少ないのは、国民健康保険、公共下水道、水道、介護保険等の専門知識を要するためと思いますが、少なすぎるのではないかと思います。

特別委員会での答弁者は、課長が行います。簡潔明瞭にしっかりと答弁できるか否かが部長の登竜門と言われている所以です。

一般会計質疑 9月24日(火)

質疑 決算に関する説明書(都市建設部)

数年来、自然災害が頻繁に発生し、甚大な被害をもたらしております。9月8日深夜からの台風15号による千葉県被害は、電柱2000本が倒壊し、60万戸を超える停電が発生しました。2週間後何とか復旧の目途が立ってきたとのこと。

そこで、本市では、自然災害に備え最も効果的で優先して整備すべき社会資本は、どのようにお考えでしょうか。

道路流失（秋山川上流・水木町）



道路流失（氷室小学校前）



答弁（道路河川課長） 昨今の日本列島各地におきます災害を鑑みた場合、道路は国民の生命と財産に直結するインフラであることは申し上げるまでもありません。従いまして、本市においても最優先に整備すべき社会資本の一つと考えております。然し乍ら、委員ご指摘のとおり決算額も年々減少していることから、その必要性は感じておりますので、財源の確保に努めてまいりたいと考えております。

質疑 国際クリケット場維持管理事業費

16,616,400円 国際クリケット場維持管理委託を受けるには、それなりの資格を要するのではないかと思います。技士等の有資格者はおいでになりますか。

答弁（スポーツ立市推進課長） 造園施工管理技士ということでございますが、クリケット場の芝のほうができ上がっているものですから、施工管理技士というのは必要ないというふうに認識しております。

***特別会計質疑* 9月24日（水）**

質問 国民健康保険事業勘定

平成30年度から、県が財政運営の責任主体となり安定的な財政運営や効率的な事業の確保など、国保運営に中心的な役割を担い国保制度の安定化を目指しますとして、県と市の役割が示されました、改めて新制度の主な内容につて、お聞かせ下さい。

答弁（医療保険課長） 新たな国民健康保険制度においては、県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等国保運営に中心的な役割を担い、制度の

安定化をさせる狙いがございます。一方、市は地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、保険税の賦課、徴収、保険事業等の事業を引き続き行うものとされました。また、国保事業に納付金制度が取り入れられまして、県が財政運営の責任主体となり、市町ごとに納付金の額を決定し、市町はこの納付金を県に納付するという形になったところでございます。

令和元年6月定例会 一般質問

道路に関する要望書の優先順位について

質問 道路整備の優先順位評価基準の策定についての調査結果は検討されたのか。

また、市民に対する説明責任として、せめて5年を経過した道路整備要望に対しては、経過等を文書で知らせるべきと考えるが、当局の考えを伺いたい。

答弁（都市建設部長） 優先順位評価基準の調査研究については、近隣市の状況を確認したところですが、地域ごとの土地利用の状況や優先順位評価を行うことで、道路整備の地域間での格差が生じないかなど、今後も他市の状況を調査するとともに、引き続き調査研究を行いたいと考えています。

年数を経過した要望に文書等でお知らせすることについては、透明性の高い道路整備を進める上で有効であると認識していますので、優先順位評価基準の策定に合わせた今後の研究課題としたいと考えています。

お願い 令和元年12月・9月・6月定例会における一般質問と9月の決算審査特別委員会等は佐野市議会HPをご覧ください。全ての会議が閲覧できます。



佐野日大同窓会の皆さん 10/27



佐野ベリーズの皆さん 12/1

災害ボランティア活動（頑張りました）